

【教育目標】

進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
たくましい子ども



夢に向かって

～未来を奏でるきらめく感性～

学校だより No.5

令和2年5月11・12日

中央台東小学校

校長 林 和 樹

明日を信じ、前を向きながら、一日一日を大切に過ごす

新型コロナウイルス感染症に係る連日の報道等を踏まえれば、臨時休業の再延長があると想定はしていましたが、実際に延長の通知が届くと、言い表せない思いがわいてきました。登校を楽しみに待っている子どもたち。安心して学校へ送り出せる日を心から願う保護者。この再延長のもつ意味の大きさを、校長としてしっかりと肝に銘じなければと思っています。「緊急事態宣言」のもと、多くの人々の懸命な取組の成果が、全国での感染者数の減少等の明るい兆しとなって現れてきています。学校の一斉臨時休業を始め、外出の自粛、人と人との接触の削減など、子どもたちには本当に辛いものばかりです。しかし、この我慢・努力は決して無駄では無く、学校再開や平穏な日常生活を取り戻すためと信じ、頑張っで欲しいと思います。ぜひ、お子様と話し合う機会をつくり、前向きな気持ちで一日一日を大切にしながら生活するように励ましてあげてください。引き続き、保護者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

「心と体のバランス」と「規則正しい生活リズム」

4月17日から三週間ぶりの登校。子どもたち以上に、私たち教職員も緊張しています。「三つの密」に十分に配慮、しかも、できるだけ短時間で。初めて行う二つの地区に分けての「登校日の設定」について、様々な視点から協議を重ねました。家庭学習への新たな課題の準備と指導をどうするか。生活リズムは崩れていないだろうか。あれもこれも、指導したいことばかり。1時間程度の登校では時間が足りません。先生方から、指導・指示だけではなく、子どもたちとの「ふれあい(話を聞く)」を、大切にしたいとの意見ができました。子どもたちの気持ちにしっかりと寄り添い、悩みや不安を受け止めることが、一番必要です。長期の臨時休業に、子どもたちはきっとストレスや疲労がたまっているはず。心と体のバランス」と「規則正しい生活リズム」に十分に気をつけさせたいと思います。そして、臨時休業の目的は、「掛け替えのない命・健康・安心」のためであることを踏まえ、家庭においてどのように過ごせばよいかを、再度、子どもたちと確かめることにします。

半数だけですがクラスメートや先生との再会に、お子様は、大喜び・大興奮で帰宅するかと思います。久しぶりの登校についての報告を、まずは、笑顔でしっかりと聞いてあげ、一緒に「良かったね」と喜んであげてください。なお、学習課題等の確認については、後から、ゆっくりとお願いいたします。

《 今後の「学校の再開」の見通しについて 》

新聞等において、いわき市長のコメントとして「5月21日以降の学校再開。分散登校などの対策を検討」等との報道がされていますが、現段階では、いわき市教育委員会から具体的な通知等は届いておりません。

なお、学校の再開に当たっては、学校における感染及びその拡大のリスクを最大限減らすことを前提としつつ、学校再開の方法及び留意点等について、国や文部科学省、県や県教育委員会からの通知等をもとに検討しているとの連絡を受けています。学校再開に係る通知が届きましたら、本校としての対応等を検討・決定し、直ぐにご連絡いたします。明確な方針や期日等をお知らせすることができず、たいへん申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしく願いいたします。

《 「布製マスク」の配付について 》

過日、国から学校に対する「布製マスク」の配付がありましたので、本日、一人1枚ずつ渡しました。今後、もう1枚追加配付される予定です。使い捨てマスクの入手が困難な状況が続いています。今回配付しました「布製マスク」や各家庭での「手作りマスク」などを有効に活用してください。なお、学校で着用する場合は、記名を忘れずにお願いいたします。